



プレイ人数：2～4人

プレイ時間：15分

対象年齢：8才以上

準備

● 猿と人間に分かれる

プレイヤーは、猿役と人間役に分かれます。人間役は1人で、それ以外のプレイヤーは猿役になります。



その後、全プレイヤーにサマリーカードを配ります。



～ 猿のオネゴシ ～

猿は人間の言葉を話すことができません。猿同士でゲームの相談などはして構いませんが、必ず猿語で話すようにしてください。

猿語の例：

「はい→ウキ」「いいえ→ウキキ」

「大丈夫?→ウキキ?」「OK→ウッキー!」

「リーチ→ウーチ!」「あれ?→オゴ?」

● 手札の配布

プレイヤーに手札を配ります。配る枚数はプレイ人数によって変わります。下の表をご確認ください。

※自身の手札を他のプレイヤーに見せてはいけません。仲間である他の猿にも見せてください。

※人間は手札を持つことがありますが、使うことはありません。情報を得るためだけに持ちます。

※除外したカードは箱などにしまい、誰も確認できません。

● 勝利条件の確認

人間

猿を1匹でも確保する

猿

人間に確保されず、猿すべてが逃げ切る

※猿はそれぞれ規定数だけカードをオープンすると「逃げ切る」ことに成功します。

※猿が複数いる場合、逃げ切った猿がいたとしても、他の猿が確保されてしまった場合、人間の勝ちになり、猿全員が負けになります。

手札の配布	プレイ人数			
	2	3	4	
猿1匹あたりの初期手札	10	8	6	
人間の手札	6	2	0	
除外するカード	2	0	0	
勝利条件	「逃げ切る」ために必要なオープンするカード	6	5	4

ターン

① 猿の行方

手元に伏せカードが無い猿は、手札からカード1枚を選んで手元に伏せます。



② 人間の追跡

人間は、1ターンに2回の行動を行います。その行動は自由に行って構いません。ただし、「確保」を行う場合、他の行動は行なえません。

探索

猿の手札1枚を適当に選ぶことができます。

封鎖

「自然」「建物」「乗り物」のうち1つを選びます。

選ばれたカテゴリーのカードを伏せている猿は、このターンでそのカードをオープンすることができなくなります。

確保

カード名1つを選びます。その後、猿は全員伏せカードをオープンします。

選ばれたカードをオープンした猿がいた時点で猿全員の負けになります。

※人間が、前のターンと同じ行動を行い続けることでゲームが進行しなくなることがあります。その場合、異なる行動を行ってください。



③ 猿は進む

それぞれの猿は、封鎖されていない伏せカードをオープンできます。

封鎖されている伏せカードはオープンできません。また、封鎖されていなくても、オープンしたくない場合、そのままオープンしなくても構いません。

「③猿は進む」が終わったら「①猿の行方」に戻り、人間か猿の勝利が決まるまでこれを繰り返します。

伏せカードの除外

「③猿は進む」のタイミングで、伏せカードをゲームから除外することができます。除外したカードは箱などにしまい、誰も確認できません。

ただし、「手元と手札のカード総枚数」が「逃げ切るための枚数」(2人プレイなら6枚、3人なら5枚、4人なら4枚)よりも少なくなる場合、除外することはできません。

逃げ切り

猿は2人プレイ時なら6枚、3人プレイ時なら5枚、4人プレイ時なら4枚のカードをオープンすることで逃げ切ったことになります。

猿すべてが逃げ切った場合、猿全員の勝利となります。

逃げ切った時、まだ逃げ切っていない猿に残った手札を好きなように渡してください。

